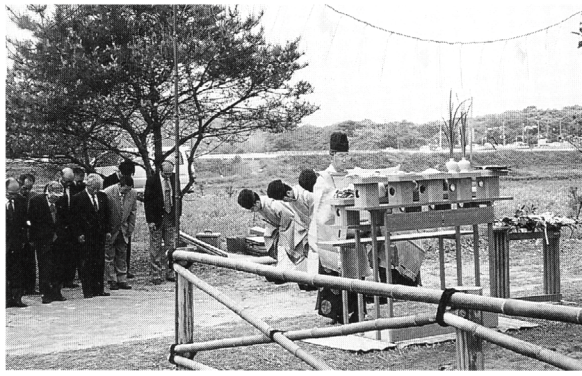




端午の節句に

五月・浜宮祭齋行



五月祭

二宮、第三宮と織幡神社、許斐宮の五神輿が辺津宮御前浜。現在の当大社神宝館第二駐置場付近の演殿より、釣川対岸の江口の浮殿(屯屯)迄、御座船を仕立てて、浜下り神事が行われていた。

また祭典の後には、五月浜にて宗像宮の社人・家人が武術、競馬を競い、盛大に祭典・神賑いを催している。江口の「かわらけ山」に散在する無数の土器片はその時代の篤い信仰と大なる賑いを物語るといえる。

「端午の節句」の五月五日、五月晴れとはいかないまでも穏やかな日和の中、恒例の五月祭・浜宮祭が齋行された。

先ず午前十三時三十分、神湊の浜宮に於て太田宮司以下神職四名奉仕のもと浜宮祭齋行。神湊地区区長代表安部實氏を始め、責任役員深田幸夫氏、高原文雄氏、神湊重太郎氏、倉元清彦氏、会長、地元総代、玄海少年自然の家鬼木克躬所長、神湊区民ら多数が参列した。



浜宮祭

五月祭を齋行。神賑を囲む祭場で、祭典は滞り無く終了した。このお祭りには、中世「五月盆」と称され、秋季大祭「放生会」と共に当日社の一大盛事として行われていた。当時は釣川の入り江も奥深く入り込んでおり、当天社第一宮、第

毎月十五日発行 宗像大社 社務所 電話 0940-62-1311代 定価 一年送料共 1000円

神具・装束 株式会社 井筒 福岡店 福岡市博多区東公園一丁目三三番八号 電話 092-651-1945

木組の家 総合建設業 株式会社 弘江組 事務所 816 福岡県宗像市大字福元一〇二五 電話 0940-311-2567

えされた神賑には海川山野の味物に加え、赤飯、ちまき、ガメの葉巻、葛酒など、子供達の健やかな成長を祝う「端午の節句」を象徴した神賑が供えられた。面宮の祭典終了後、神部の母なる川、静かに流

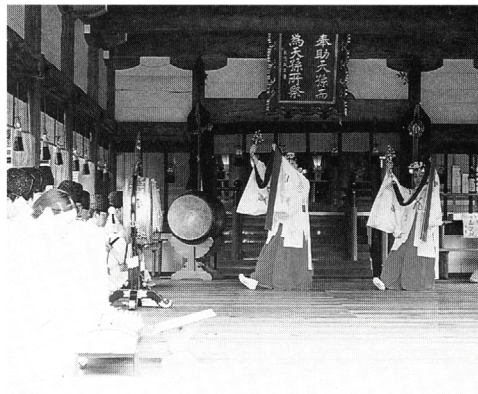
昭和天皇の御聖徳偲び 厳かに昭和祭を齋行

——みどりの日——

激動と試練の昭和を、国民と共に歩まれ、苦楽を共にされた昭和天皇の仁慈溢れる御聖徳を偲る昭和祭「みどりの日」の四月二十九日、厳粛に執り行われた。当日、両宮の神前にお供

大東亜戦争は、我に利あらず、ために祖国は危急存亡の淵に立ち、ときに昭和天皇は「身はいかに成るともふれゆく民をおもひて」

水面には早苗が影を浮かべ、樹木の緑も日毎に色濃くなり、釣川を泳ぐようにして鎮座する、浜宮・五月宮で五月盆が滞りなく齋行され、初夏を告げる一日が暮れた。



宗像大社奨学金受給奉告祭

平成十三年度 宗像大社奨学金受給奉告祭



四月二十九日、宗像大社奨学金受給奉告祭が齋行された。この日、奨学生並びに保護者が本殿に参集、先ず午前十一時齋行の昭和祭に参列し、宗像市・郡中学校校長を代表し福岡中学校校長の有志宏明氏が、奨学生を代表し大島中学校出身の宮本龍喜さんと古賀麻里奈さんが、玉串を捧

限らない弥栄と御安を祈念し、古代から日本人の心に形成され、培われてきた伝統に思いをはせる日が本

宗像市が本年、市制二十周年を迎えた。それ以前からであるがこの間も、宗像市は増加も著し、各所々に団地が造成され新地名が誕生している。その地名は旧の趨勢が「一里」「一丘」「一丘」等の現代風な地名が多いように思われる。



沖・中両宮春季大祭

島内終日賑わう



前には真心からなる献魚や献品が供えられ、修祓の後、宮司は皇宗の弥栄、国家、国民の平穩、漁業繁榮、海上安全を祈念した。

続いて氏子代表として奉幣使が奉幣詞を奏上、次に最良な舞が奉幣された。最後に宮司、奉幣使、沖・中両宮奉賛会長、宗像大社責任役員、翼賛会会長、

桜も満開の四月八日と九日に、沖津宮・中津宮両宮の春季大祭が盛大に執り行われた。

この大祭は、漁止めとなる旧暦の三月十四日、十五日に斎行され、豊漁と海上安全が祈念される。

大祭・日前から、大島では奉賛会と敬神婦人が御縁宮・遣拝所を清掃、餅つき、前日には縄の取り替えなど、大祭の準備を全て整え、午後四時から、掃き清められた境内で奉仕、午後五時から、奉仕神職は沖津宮遣拝所と中津宮の二手に別れ、宮宮祭を奉仕した。

社で豊漁と海上安全を祈念する奉祭が行われた。

午前九時から、遣拝所に於て、春霞の洋上北(約五十キロ)の彼方沖津宮、向かって神饌が供えられ、春季大祭が斎行された。宮司の祝詞奏上、浦安舞が奉納され、奉祭者一同玉串拝礼を行い、遣拝所を後にした。

午前九時半、大島最高峰に鎮座する御縁社でも春祭りが行われ、宗像農協大島支店社長を始め崇敬者が多数参列した。

午前十一時前、中津宮斎館玄関に正服に威儀を正した太田宮司以下神職五人、田志乃勇奉幣使、十一軍の巫女、奉賛会長兼役員が参進、祭典が始まった。

拝殿前にはすでに島内外より約百五十人が参列、神

敬神婦人部長、大島村長等、各界の代表四十数人が玉串を捧げ、祭典は滞りなく終了した。

引き続き、拝殿に於いて、中津宮功労者、沖津宮・中津宮への献魚者に感謝状並びに記念品が贈呈され、照海殿で直会が催された。

午後一時半から奉納子供相撲大会が境内の土俵で行われた。大島小学校の生徒が参加し、男子はまわしをつけ、取り組みは低学年から行われ、保護者や観戦者から声援を受けながら熱戦が繰り広げ、筑前大島は終日大いに賑った。

大漁旗はためき

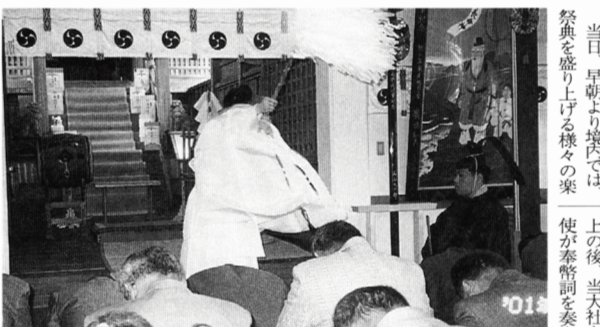
織幡神社春季大祭

四月十六日(月)、玄海町鐘崎に鎮座する織幡神社の春季大祭が斎行された。

同社は延喜式にもその名が見られる古社で、当社とも御縁が深く、旧境外神社の由緒を持つ。

当日、早朝より境内では、祭典を盛り上げる様々の樂曲が流され、太鼓の響きも高らかに大漁旗がはためいて、祭典は地元総代を始めとして氏子の方々が多数参列する中、午前十一時より斎行され、永島宮司が祝詞奏上後、当社からの献幣使が奉幣詞を奏上。次いで、関係者が神前に玉串を捧げ、大漁満足と海上の安全を祈念した。

漁業の町として有名な鐘崎は、その名も萬葉集に「ちははふる鐘とよむ岬を過ぎぬとも我は志賀の皇神」と詠まれる程



の潮流の難所として古えより知られ、海女漁発祥の地としても有名な所である。現在でも県下随一の漁獲高を誇り、織幡神社の御神徳の下、今も昔も変わらぬ賑わいを見せている。

出光興産九州支店 御動座祭斎行



出光興産株式会社九州支店がこのたび福岡市博多区博多駅前サニックスビルに移転することとなり、去る五月十日に九州支店に鎮座される宗像神社の御動座祭が斎行された。

出光興産株式会社九州支店は、昭和二十七年に福岡市中央区大名にて福岡支店として開業以来、三十九年が経過、建物の老朽化と平成十一年七月には九州支店に名称を変更し、出光興産の九州の中核として業務を行なうこととなり、業務の拡大の為、今回支店の移動となった。

当日午前十時、参互取締役員が参列するなか、宗像大社神職一名により旧支店にて、神輿をお移しする為

卯月の参拝

- 四月一日(日)
 - 宮地神社、東郷神社、宗像和太クシ、井筒、弘江組、魚屋旅館、海峯、吉井商事、西日本開発、海王クラブ、(有)梅月堂、(有)宗像歯科医師会、(有)宗像福祉協議会、宗像市共済福祉協議会、積善社、(有)まよえ水産、横山家具、石村萬盛、速藤クリーニング店、(有)宗像青年会議所、北九州菊花芸術協会、玄海町観光協会、宗像市遺族連合会、南郷地区、宗像農業協同組合、合田島支店、宗像地区囲碁連盟、玄海町議会、スナック華、お食事喫茶ハウス彩、(有)カキヤキ、(有)アース緑化、中原長楽園、(有)清心、丸島園、むら、白木技研、(有)丸丸定温運輸、(有)西万医院、白木技研、(有)丸丸定温運輸、三栄電機、白木技研、(有)濱崎設備、川北機械
- 四月二日(月)
 - 宗像大社氏子会、沖中両宮奉賛会、宗像担振社、年毛神社、大島村役場、同渡瀬課、大島漁業協同組合、玄海町議会、玄海町組合、玄海町、津屋崎町田島校多岐大津一地区長会、福岡町大津一地区、宗像機軍人会、玄海町社会福祉協議会、宗像交通安全協会、宗像バスタークラブ、立正佛法会書道部、宗像佛法会書道部、(有)神威仏法会、(有)宗像神社、他関連会社、(有)宗像、(有)九州の玄関口である博多駅が、目の前とあって利便性の高い立地条件になっており、出光興産株式会社九州の中核として業務の拡大をお祈り致します。
- 四月三日(火)
 - 西鉄農業、久米電気
- 四月四日(水)
 - 白梓連福岡支店・中九州支店・北九州支店・熊本支店・鹿兒島支店・門司支店・福岡支店・広島支店、三電電気九州支店、ヤマト運輸エキスプレス九州主管支店、宗像西鉄タクシー、(有)ライスシステム、飛翔、九州車輦具、(有)金村組、プレスコート、岡野ワルブ製造
- 四月五日(木)
 - 九州旅行鉄道、山崎製パン、ヤマト運輸福岡主管支店、平和運輸産業、福豊コンクリート工業、宗像西鉄タクシー、岩崎工業、(有)イワサキ、オオラ、(有)衛生衛生(有)田川庄接工業、(有)関組、原田組
- 四月六日(金)
 - 平和運輸産業、西日本鉄道、オオラシステム、穂波環境衛生、西日本工業、高田工業、(有)シジョウ工業、福岡コンクリート工業、エム・アイ・ティ、福岡セコー運輸、米倉運送
- 四月七日(土)
 - プリマム九州支店、竹内産業、鳥穂ワロバン
- 四月八日(日)
 - (有)金澤建設設計事務所、那川川物産、井上商工、(有)リオンエース、(有)太田電機工業所、(有)芳賀商會、豊田興業
- 四月九日(月)
 - 九州日立物流サービス、平和運輸産業、(有)坂本写真事務所、(有)美野野運送、(有)山葉
- 四月十日(火)
 - 三葉マテリアル九州工場、黒崎地区、太平工業八幡支店、大電、(有)荒井義隆製作所、(有)イチャマ、(有)野田商店、(有)西部特送、(有)高瀬組
- 四月十一日(水)
 - 九条運輸倉庫、大熊建設、福岡魚網、東洋緑地水巻支店、(有)名島産業建設、むさし運送、(有)ウインクヤマチ、駿和運輸
- 四月十二日(木)
 - 石井通福建設、快生館、F.C.石灰工業所
- 四月十三日(金)
 - 三島光産、エムティアイ、西部日曹、貸衣装(有)秀美苑、白鶴電機管理事務所
- 四月十四日(土)
 - (有)上土務店、安弘興産、(有)山田産業、高倉運輸、山崎製パン、日本通運九州支店、八幡引越センター、スターハイテック
- 四月十五日(日)
 - 谷口組車輦具、(有)中藤工業、たかすぎ内装、(有)尾木ラヂエーター商会
- 四月十六日(月)
 - 日本製粉ムナカタ、(有)中山通信
- 四月十七日(火)
 - 鴻池船主支店、ビーオーケミカル、明電舎
- 四月十八日(水)
 - (有)慶行運輸、正興電機製作所、ニッセイ商事、長門運輸
- 四月二十日(金)
 - ワールドメイトウルトラ九州エリア本部、光和産業、(有)龍アロック工事、(有)山田照明、エーシーケー
- 四月二十二日(土)
 - (有)浜野商店、細川建設、酒見設計、(有)富士ドラッグ、(有)修成工業
- 四月二十三日(日)
 - 安川情報システム、泰平物産、(有)なみ環境衛生工業、(有)藤下商店
- 四月二十四日(月)
 - 日通福岡トレッサ
- 四月二十五日(火)
 - 九州運輸建設、九州菱化物流、溝本果、カワケチ企画、明和テックニカル、(有)ふくおか童販、イワサキ、(有)松田住宅機器
- 四月二十六日(水)
 - 九州周波数熱、小倉製粉、星光科学工業
- 四月二十七日(木)
 - 西日本チップセンター、(有)姫路屋建設、九州合通
- 四月二十八日(金)
 - 今村工務店、(有)光建設、(有)水井運輸
- 四月二十九日(土)
 - 峰松ハカタ薬局
- 四月三十日(日)
 - (株)太陽薬局

春季奉納盆裁展開催

参拝者楽しみです

宗像の山々が新緑を増し、空には鯉のぼりが舞う五月二日から六日まで第十八回宗像大社春季奉納盆裁展が、本殿横の境内に於て開催される。

前日の五月一日午後、盆裁委員会、当社職員の手で会場設営作業が行われた。翌開催の五月二日は生憎の雨模様の中、早朝より出品盆裁の搬入が行われ、十一時までの展示を終えて、奉納盆裁会渡辺会長以下役員全殿に昇殿し、開始奉告と盆裁の発展を祈念した。神前に玉串を奉り、続いて展示作品のお祝いで幕を閉じた。

開催期間中の前半は雨模様だったが、後半は天気も回復し、五月晴れの空が広がった。開催中は大型連休中ということもあり参拝者も多く、管理当番の会員の説明を興味深く聞かされた。露天下に展示された盆裁は晴れの日には日射しをいっぱい浴び、生き生きとした姿見え、又雨の時はほつとり落ちていた雲開きの中に優雅さを出し、自然に溶け込んだ盆裁は色々な顔で楽しませていた。

五日間に亘って開催された奉納盆裁展も六日六時の夕刻、幕を閉じた。「宗像盆裁展は宗像地区(玄海町、宗像市、福岡県津屋崎町)の盆裁愛好家が「宗像大社の御神徳の発揚に努め、又、会員相互の親睦を計り、日本の伝統と格調高き美を遺憾なく表現できる盆裁の普及、盆裁発展の研鑽を励み、盆裁発展の一助とする」ことを目的として昭和四十七年宗像大社

奉納盆裁会を結成し、翌四十八年十一月第一回目の奉納盆裁展を開催した。現在、春秋年一回開催されておられ、春は昭和五十九年より始められ、今回で十八回を迎えた。



北海道の宗像さん

全国初の五輪車を登録

日頃より当大社を篤く崇敬いただいており、沖ノ鳥にも何度も渡島されている。北海道芦屋町在住の宗像光良氏(七十四才)が八年前から開発していた五輪自動車が開発していた五輪自動車(国土交通省道運運輸局帯広陸運支局の検査に合格し、小型乗用車として登録された。「五輪車」での登録は全国で始めてである。宗像氏が五輪車を開発しようと考えたきっかけは、やはり「北海道の凍結した道路で安定し



助輪を結ぶとちょうど直角二等辺三角形になる位置にある。もちろん、ブレーキも効くようになっていて、完成したのが、何しろ全国で始めての為、車検がなかなか通らず、登録車を含め二台の試作車を手掛けた。宗像氏は、茨城県日立市出身で、海軍機関学校を卒業し、管林署、尼崎町役場に勤務。役場時代は車両課主任技師を務め、機械や自動車整備には詳しい。晴れて公道を走る宗像氏の五輪車は、もちろん当大社の御守が祀られている。今後は、宗像大神の御加護を賜わり、安全運転で走行していただきたい。

16チームが大熱戦

玄海マリンカップ 2001



五月三日、四日に玄海中学校グラウンド・玄海宮グラウンドに於て第十回福岡県選抜親善野球会・玄海マリニックカップ(二〇〇一)が開催された。大走りが出来るようにと敬いただいており、沖ノ鳥にも何度も渡島されている。北海道芦屋町在住の宗像光良氏(七十四才)が八年前から開発していた五輪自動車が開発していた五輪自動車(国土交通省道運運輸局帯広陸運支局の検査に合格し、小型乗用車として登録された。「五輪車」での登録は全国で始めてである。宗像氏が五輪車を開発しようと考えたきっかけは、やはり「北海道の凍結した道路で安定し

新人巫女紹介



上部 茜

私は東海女学院短期大学卒業後、三月下旬より巫女として御奉仕させて頂いております。巫女習志として二カ月になろうとしますが想像していた以上に色々な仕事があり、ここの所に大変な日々を送っています。私が巫女を希望した理由は、神様につかえ奉仕させて頂く事は、そう誰でも体験できない事だと思ったからです。これから自分や周囲の方々に納得のいくよに頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



縄田 法子

今年の三月に折尾安学園高等学校を卒業し、宗像大社に御奉仕させて頂くことになりました。私は名前の通りのおんがりした性格です。いつもどこか一テンポより遅れて周りの人に迷惑をおかけすることがあります。そんな私ですが、中学・高校の六年間テニスをして全国大会に出場することができました。その時に得た、人に対する思いやりや感謝の気持ちや、御奉仕させて頂きたいと思っております。



ハヤシ 直美

私は、今年の三月に折尾女子学園高等学校を卒業し、四月より、宗像大社に御奉仕させて頂くことになりました。幼い頃から地元である宗像大社を訪れるたびに、「巫女さん」の姿に、いつも目をひかれており、いつか自分も、巫女さんのような女性になりたいと夢見てきました。夢を現実のものとするのができたら、女性らしく、そして自分の意志をしっかり一杯のチームプレーを見せたい。七月から始まる県大会が楽しみです。



中山 実香

今年の春、東海女学第五高等学校を卒業し、宗像大社に巫女として奉仕させて頂くことになりました。玄海町神楽に住んでいますが、私は、小学校から高校までバスケットボールをしていました。今までは、運動が好きな活発な女の子でしたが、これからはお茶やお花習う事を身につけながら、女性らしい一生懸命な姿勢で行きたいと思っております。いろいろな御迷いをおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願ひします。

第四七九回 宗像大社歌会詠草

大野 展男 選 毎月25日 切

武丸 中村さつき
夜校を見る人々の写されて
寒さにコート着てゐるもあ
り

曲 天野 玲子
新聞の投稿欄に載る一
人の人の名を覚えて

光陽台 香月 照子
ともすれば折れそう
なる心もあまじく深
呼吸する

田久 井上 光
昼暗き御堂に広がる御仏の
手の相替む春の鎮国寺

自由ヶ丘 細川 絹子
春色を刺して手毬を作しゆ
くに春の日を受け針先ひか
る

吉留 高山 信子
予告なく帰るゆるゆる出
張の子の部屋に挿す花はた
やさず

日の里 石松 弘次
昼ふけを尻尾の曲がる老い
猫が庭をゆくりよりきり
ゆけり

朝野 藤井 浩子
花見など関わりなきと母
の臥す病院への道標橋開

田野 森 つるの
四十四賀盛大に祝ふ港町花
車仕立て餅を撒くそぞ

日の里 大和美由紀
吹く風に梅花粉は湧き立ち

て煙のごとく山を覆ひぬ
鐘崎 安永 久子
リバイバルテレビに聴けば
若き日の顔ちきいつか口
ずさみ

池田 小田 イセ
春の日の光り流るる樽見川
土手の菜の花水面に映し

田野 森 甲子
はらはらと衣替へする大き
樟青空に若葉を萌やす

福岡 池浦千鶴子
ほのぐら朝に旅だつ子を
送り濃いの番茶ひとりの
み

名古屋 小田 留子
手話の子の舞ひめきし手
の動き車内の人ら心なこめ

名古屋 小田 喜一
ためはず川の命をキロロチ
ンのごとくに断ちて水門締
まる

光岡 竹浦 葛明
櫻花おかり心魅せられ昂る
も極まりのなき寂しと過る

光岡 河村 久光
夏の朝五時に目覚めてカー
テンをめくりて居れば白鳥
の一羽

〈ご案内〉

この社報「宗像」に掲載する短歌・俳句を毎月二十五日締め切りで募集しています。御希望の方は、宗像大社歌会まで御送付願ひします。また、短歌の勉強会である互選会も、毎月第三土曜日に当社大社館にて開催しておりますのでどうぞご参加下さい。

